**信州 P-TECH　令和８年度スタートアップ講話**

講話①「AI と DX で変わる仕事の最前線～若い世代が身につけるべき力～」




「AI と DX で変わる仕事の最前線～若い世代が身につけるべき力～」

長野県産業振興機構
デジタル化推進員　角田　孝　様

**講話内容**

・長野県産業振興機構の紹介
・なぜ今 DX と AI なのか
・企業 DX・AI 活用の事例紹介
・若い世代が身につけるべき力

**生徒の感想等（抜粋）**

・自分たちの身の回りには、思っていた以上に AI が活用されていた。
・AI の便利さを理解する事ができました。将来にも役に立つと思いましたので AI の事をよく知っていきたいです。
・今の時代には AI は絶対に必要にされるものだと思った。そしてそれを自分たちがうまく活用できれば今よりもっと生活も考えもよりよくなっていくと思う。
・AI を使いこなせるようになって自分の仕事にあわせて使っていきたい。
・過去と現在において、デジタルメディアなど多くのことが AI や IT を使用しているなど大きく変わってきているのだと思った。
・これからの社会は AI や DX は、職種に関わらず、どこでも必要な一般スキルになっていくのかなと思った。今からでもプログラミングや AI に触れて、それらを活用して課題解決をする力を身につけていきたいと思った。
・高校生のうちにできることが結構あるなと思った。もっと身近なコンピューターや AI に触れていきたい。
・勉強だけでなく、考え方や協力する力なども必要だということを知った。

講話②「テクノロジーで未来を創る」




「テクノロジーで未来を創る」

日本アイ・ビー・エム株式会社
技術理事　柿本　達彦　様

**講話内容**

・IBM とは
・社会基盤としての IT、技術トレンド（AI と量子コンピュータ）
・変化し続ける技術に関わるということ

**生徒の感想等（抜粋）**

・だんだんと IT・AI に興味が湧いてきた。
・IT は病院などでも使われていてすごいと思いました。今後もどんどん IT も進化してくると思ったので、IT についてより知って将来に活かしたいです。
・古典コンピューターと量子コンピューターはそれぞれ得意、不得意分野があって、古典コンピューターができない、素早く答えを出すことを量子コンピューターはできたりなど、どちらもよいのだと思いました。
・AI が活用されていくけどこれから大切なのは、便利な社会になってもコンピューターについて知っていくことであり、自頭は便利な社会になっても大切だと思った。
・AI や IT の進化の歴史や、現代社会の変化と、今後について改めて考え、知ることができた。
・時代に合わせて自分の考え方を変えていきながら生きていくことが大切だと思いました。
・好奇心があることが大切で、気になったことは調べていけるようにしたいと思った。
・世の中はいつでも変わり続けているから「なぜ」「どうして」などの好奇心を持ったり、たくさんのことに繋がりそしてそれを全力で楽しむことがすごく大切
・やっぱり人間はコミュニケーションが必要だと感じました。コミュニケーションがあったら伝えたいことをしっかり伝えられることが分かった。

**コンソーシアム参加企業紹介**

信州 P-TECH コンソーシアムにご参加いただいている企業のうち３社に、会社説明及び DX の取り組み等についてお話しいただきました。

## 上田プラスチック株式会社　様

・射出成型でプラスチックを作っている。
・小さいけど、大事なプラスチックを作っていることが分かった。
・プラスチックが沢山のところで活躍していてどのように作られているか分かった。
・有名な車の部品に関わっていて驚きました。
・動画での説明が分かりやすかった。



山浦 様

## シナノケンシ株式会社　様

・モーターを作っている会社。
・自分の知らないところでも、地元の会社の部品が使われていることを知れた。
・国内外に幅広く広げていてとてもすごいと感じた。
・上田には世界で活躍する会社が色々あるんだなと感じました。
・色々な分野に役に立つ部品を作っていてすごい。


前田 様

## 有限会社長野エーシーエス　様

・主に制御盤などを作っている。
・一人ひとりの個性をすごく大切にしている会社。
・システムや制御盤が日本中で使われていて、それだけ多くの信頼があるのだろうと感じた。
・１つの会社で色々な部品を作り、様々な用途で使われているんだなぁと思った。
・色々なものに挑戦していた。



髙木 様